

絶対に「火遊びしません！」

市内園児が集まり幼年防火まつり

第18回幼年防火まつり（市青少年防火委員会、市消防本部主催）が9月15日、登米祝祭劇場の屋外ステージで開催されました。

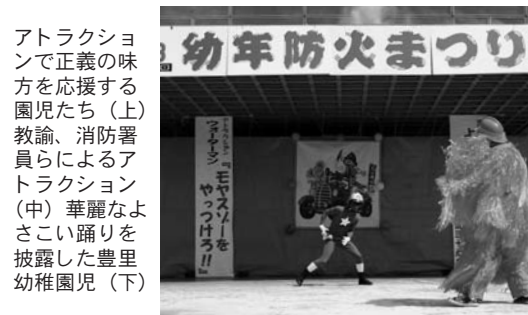
市内の14幼稚園、7保育所（園）から園児、引率者、関係者ら約1,150人が参加。

西郷幼稚園の園児4人による



開会宣言で始まり、米山東幼稚園の園児たちが「マツチやライターで火遊びしません」など、3つの防火の誓いを大きな声で元気に発表しました。

続いて、8月に開催された「YOSAKOI & ねぶたINとよさと」に出場した豊里幼稚園の園児37人が、よさこい踊り「乱舞」を披露。



元気がいっぱい踊りに参加者から盛んな拍手が送られました。

また、アトラクション

ンでは、教諭と消防署員らが「ウオーターマン、モヤスゾーをやっつけろ！」を実演火に見立てた衣装を着た、悪者役のモヤスゾーに立ち向かう、正義の味方ウオーターマンを園児たちは力いっぱい応援しました。

その後、消防・救急車両をバックに記念撮影するなど、園児たちは楽しみながら「火」に対する正しい知識と、防火の大切さを学んだ一日となりました。



第6回全日本創作太鼓フェスティバル（同実行委員会主催）が9月3日、北上市で開かれ、米山町の「米山丸山太鼓」が優勝しました。

フェスティバルには、演奏のビデオや活動内容などで、



週2回の夜間練習に励む会員

巧みなばちさばきで栄冠

全日本創作太鼓フェスティバル

事前審査を通過した5都県から10団体が出場。巧みなばちさばきで、会場に詰めかけた多くの観衆を魅了しました。

米山丸山太鼓は小中学生を中心に12人で参加。平筒沼の東端にある「弁天島」に、古くから伝わる龍神の物語を題材とした「龍神乱舞」を披露し、見事2年ぶり2度目の優勝を果たしました。

「以前は挑戦しても入賞できなかったが、最近になってようやく子どもたちに夢を与えられるようになった」と話す久保泰宏会長。副会長の鈴木和恵さんは「演奏した曲は大会前日まで編曲するなど、とても苦労しました。優勝できてうれしい」と話していました。



米山丸山太鼓は家族のようなチームワークが自慢

左右を確かめ正しく横断

幼稚園児の交通安全教室

幼稚園児を対象とした交通安全教室（北宮城自動車学校主催）が9月22日、同学校で開催され、米山西幼稚園の年長児童、引率者、関係者ら約50人が参加しました。

佐沼警察署員、市消防本部



人形を使った横断中の接触事故を見学

職員、自動車学校職員らの指導のもと、正しい横断歩道の渡り方を体験。園児たちは、左右を見て車が来ないことを確認し、手を高く上げて渡りました。

交通事故の実演では、人形を使った横断中の接触事故を見学。白バイ、救急・消防車両の乗車も体験し、交通安全を誓いました。

また、学校内に展示されている、自分たちが作成した交通安全の絵画の見学などもしました。

教室に参加した大立目麻君と西條恵里奈ちゃんは、「普段乗れない白バイや救急車などに乗って楽しかった。家に帰っても交通ルールを守ります」と話していました。



正しい横断歩道の渡り方を学ぶ園児たち

元気にいきいきした生活を

全地区で介護予防教室

介護状態になることを未然に防ぎ、万が一その状態になつたときでも状態が悪化しないよう、8月から市内を3地区に分け、介護予防教室を開催しています。

対象者は、総合健診で行われた「基本チェックリスト」の結果で、介護状態に近いと

判断された高齢者。インストラクターによる指導で、筋肉や骨などの運動器機能を向上させる運動と、栄養に関することなど、14回にわたり学習します。

東和・中田・石越地区では9月8日、4回目の教室を宝江ふれあいセンターで開催。



舌の運動や顔面体操もしています

16人が参加し足の指や舌の運動、顔面体操などを大きな声で元気に行いました。

事業を委託している仙台市「旬健生」のインストラクターで、健康運動指導士の渋谷祐子さんは「人によって体力・機能面で格差があるので、個人に合わせてプログラム

を作成しています。安全で効果的に楽しく運動できるようにコミュニケーションを取りながらの指導を心掛けています」と語ります。

参加者の伊藤紀子さん（中田）は「運動を始めてから、腰から足にかけて筋肉が伸びた感じ。朝起きや歩くのがとても楽になり、ご飯がおいしくなりました」と話していました。

9月下旬からは、登米・豊里・米山・南方・津山地区が始まっており、迫地区は12月上旬から開催する予定です。

インストラクターの指導で元気に足の指の運動をする参加者